



令和7年度  
は日本にと  
つて復興や  
国際的なイ  
ベントが重  
要な年でし  
た。「山出  
しぐれ最

柘植地域の皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに新しい年を迎えられ、今年一年の幸福と健康を祈願されたこととでしよう。

お正月は意義深くて、おめでたくて、心あらたまる。常日頃考えられないことも考えたい。無沙汰のお詫びもしてみたい。そして、新たな勇気と希望も生み出したい。すがすがしくて、さわやかで、お正月はいいものである。（故・松下幸之助氏の言葉から）皆さんにとって、よりよい一年でありますように、心よりお祈り申し上げます。

## 「年頭ご挨拶」

柘植地域まちづくり協議会  
会長 宮田 隆

会長  
宮田 隆司

## 柘植地域

# まちづくりだより

第324号

発行 柏植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柏植町一〇六四七番地  
(柏植地区市民センター内)  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三  
発行日 令和七(2025)年十二月二十六日

重ねし庭の  
実千両

六代を  
柘植地域俳句コーナー

1、能登半島からの復興  
2、大阪・関西万博の開催→日本の技術力  
と文化的魅力を世界に発信する絶好の  
機会となつた。

3、マイナンバーカードの普及

4、自然災害・・・1月には、青森で大雪  
が発生し、鹿児島県トカラ列島では震度6  
弱の地震が観測された。令和7年は、復興  
や国際的なイベントを通じて、日本の災害  
復興力と平和への再確認をする年となつた。  
そして、昨年夏、スーパーから米が消える  
「令和の米騒動」が起きた。市民が主食を  
買えない異常事態。その後、価格も急騰し、  
さらに、食品やサービスの「値上げラッシ  
ュ」が家計に追い打ちをかけた。

米は猛暑の被害が価格高騰の一因となつ  
ており、気候変動が産業に及ぼす最も悪い  
影響を聞くと、「高温障害や風水害、虫害  
による農産物の収量低下」が最も高い。  
今後、価格高騰対策と同時に、猛暑に強い  
米の普及促進や高温対策のための「水路確  
保などのインフラ強化」が求められる。  
日本にとって、初めての女性総理に期待  
いたしましょう。

たのではないでしようか。（東北楽天イーグルス） ■ 神村学園伊賀の西川選手は、高い身体能力を活かした守備と走塁が持ち味。（広島カープ） みんなで応援しましょう。

■ そして、伊賀市島ヶ原出身でＪＲ西日本の社長が誕生いたしました。（倉坂昇治氏 62歳） プロフィール.. 京都大学法学部卒。経営方針の一つに、「地域の公共交通のあり方」を促進するとある。このチャンスを活かさないではいられない。そのように思われませんか。これを機会に関西本線のあり方など、是非土俵にのせたいものである。

さて、私達の「つげまち」の活動は地域一体となつて「全員参加のまちづくり」を目指しています。

1、地元企業との連携については、引き続き情報の共有化と地域活動への参画を進めています。「健康うんどう」、「収穫祭」、「防

さて、私達の「つげまち」の活動は地域  
一体となつて「全員参加のまちづくり」を  
目指しています。

1、地元企業との連携については、引き続  
き情報の共有化と地域活動への参画を進め  
ています。「健康うんどう」、「収穫祭」、「防

災活動」、「地域行事」への参画などです。

今年度は是非とも、新年の賀詞交歓会を実施したいと思つております。

2、収穫祭には、トレイルランニングと併催して、主催者やランナーから多大な評価をいたいでいます。今年も内外からの参加や、来賓の方々の参加もいただき、盛大に終えることができました。

3、各部会活動に於いては、地元住人の方々を中心、「多文化共生」を重視した活動を展開しています。その中で、小林区、青葉台区なども外国人の方々をお招きして区内活動に招待されています。また、人権推進として、ベトナム出身の方に講師をして頂き、日本で生活していくためのマナーや日常での困りごとへの対応などについて話していただきました。子供から、大人まで「喜んでいただける」活動を展開している部会長、委員長を中心にお部会活動の輪が繋がってきたことに感謝しております。

しかし、今後これらのが、自分たちの満足では不十分なので、運営委員会で活動評価のあり方を検討し、全員参加の全員評価を以下の要領ですすめて参りたいと考えております。

これからの中・外部からの評価の方法と内容について、考え方を報告させていただきますので、参加者の皆様方のご協力をお願ひいたします。

日頃から市政の推進にご協力いただき感謝



## 『新年のご挨拶』

伊賀市長 稲森 稔尚

あけまして  
おめでとう  
ございま  
す。柘植地  
域の皆様が  
健やかに新  
春をお迎え  
の事をお慶  
び申し上げ  
ます。また、

斎藤茂太

2、夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。  
(思考家/教育者・吉田松陰)

増やす方がいい人生。(精神科医/随筆家・斎藤茂太)

1、行事予定は予定通り終了したのか。内容・予算など。2、行事予定の参加人数は計画通りだつたか。3、参加者の満足度はどうだつたのか。(アンケート)4、維持継続の必要度はどうか。5、運営委員会での総合評価を実施し、総会にて報告する。

これらを新たに取り入れ、しつかりとした「まちづくりの基盤」にしてまいります。

私の好きな言葉を二つ紹介させて頂きます。

1、やれることを増やすより楽しいことを

申し上げます。

さて、地元・いがまち地域から伊賀市長としての重責をお預かりして一年が経過しました。就任以来「まち」と「むら」が力を合わせ、「子ども」も「大人」もいきいきと輝く、持続可能なまちづくりを市民参加で創造していくことに注力してまいりました。この一年余りで多くの取組みをしてきましたが、その中から主なものをいくつかお伝えいたします。

人間の生存に欠かせない食糧を生産して、豊かな森林や田畠を守る農村地域の振興は大変重要な事です。これまで農業・林業の取組みを強化すべく、2025年度に「産業農林部」に名称変更し、林業担当の「未来の山づくり推進室」を新設、部長級の農林担当理事を配置しました。

今後は、伊賀市の10年先の農業と農村を見据えた「伊賀市夢のある農業振興計画」の策定に向けて、初めてのオープンハウス型説明会の開催や多彩な委員メンバーによる計画策定委員会も動き出す事ができました。その他、地域振興や身近な相談窓口として欠かすことのできない支所機能の充実も図り、周辺地域の切り捨てではなく、それぞれの地域が輝くまちづくりをめざします。JR関西本線の利用促進・活性化の取り組みとして、昨年2月には名古屋駅と伊賀上野駅を直通で結ぶ実証列車を運行しました。この取り組みで、沿線地域外からの観

光客移動需要を検証しました。さらに、「地域の華を列車に集め、お客様と地域の縁を結ぶ」というコンセプトの観光列車「はなあかり」も昨年11月から12月にかけて運行しました。この列車は、関西方面からの観光客を誘致し、沿線の活性化を図るための大変な取り組みでした。柘植の皆さんには市民参加で観光列車を大変盛り上げて頂いた事にも深く感謝申し上げます。尚、公共交通の更なる充実の為に、地域ぐるみで鉄道・バス等の積極的なご利用もどうかよろしくお願ひします。

「子どもの権利条約」の制定に向けた取り組みです。これまで多くの若者や高校生の切実な声を受け止めて「18歳成人式」の中止を決断し、来年からは「二十歳の集い」として開催する準備を進めています。

これまでの市政の反省から、「権利」として、こども・若者の声をもっと大切にする市政とすべく、「子どもの権利条約」の制定に向けた検討も動き出しました。

また、昨年9月には子どもの医療費の窓口無料化を18歳まで拡大したところです。

当面は物価高騰から市民の暮らしを守るために全力で伊賀市の経済対策をとりまとめています。今年一年も持続可能で誰もが安心して暮らせる地域のために全力で取り組んでまいりますので、皆様にはご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、柘植地域まちづくり協議会のご

発展と、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせて頂きます。



令和7年度「住民自治協議会研修会」  
11月19日(水)伊賀市ゆめぽりすセンターに於いて、今年度3回目(最終回)となる「伊賀市住民自治協議会研修会」が開催されました。市内37ヶ所の住民自治協議会の代表が参加し、今年度のテーマ「持続可能な地域の為に私達に出来る事、やるべき事」について、グループ毎に討議。講師は皇學館大学准教授池山敦氏。各自治協から出た意見の多くに、自治協役員、行事等への深

刻な扱い手不足。高齢化比率が年々高まり4人に3人が70歳以上。又「人口減どころか消滅危機にあらざる村落」「集落を終わらせる事も選択肢」等々「担い手不足と少子高齢化」が何処の地域に

於いても大きな問題で打開策が喫緊の共通課題です。

### 令和7年度「地域意見交換会」



11月20日(木)毎年恒例の伊賀市議会議員との「地域意見交換会」が市民センターで19時から開催されました。開催趣旨は「伊賀市議会では市政への民意反映の場として、希望される自治協を対象に地域意見交換会を実施します。」(議員事務局より)今回、市議側は幹事の山口康子、北森徹、山下典子、西田方計の4氏(敬称略順不同)、自治協代表として役員、区長、部会長、委員長の運営委員会委員が参加。テー

マは①旧大和街道に於ける活性化課題(柘植の歴史文化遺産を如何に活かし観光資源として活用する方策は?つげまちの賑わいを復活させる手法は何か②柘植駅所の在り方③空き家対策④その他懸案課題(草津線の伊賀上野の電化延伸、柘植駅前の開発整備、豊富な歴史文化遺産の活用、企業誘致の必要性等を討議しました。

